

款	04	衛生費	予 算 現 額	126,335,000 円
項	01	保健衛生費	決 算 額	123,691,106 円
目	01	保健衛生総務費	前 年 度 決 算 額	67,812,949 円
			対 前 年 比	182.4 %

I. 事務の目的体系

1	事 業 名	保健衛生一般管理事業	コード	01	04	01	01	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町職員
2	働きかける相手(対象)	町職員・関係機関
3	どのような状態に したいのか(意図)	関係機関と連携を図り、健康増進法、母子保健法、予防接種法等に基づく各種事業を円滑に実施します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	保健衛生一般管理事業	
		(1) いきいき東郷21推進協議会 町民の健康づくりと食育推進計画を定めた「いきいき東郷21(第2次)」の進捗状況の報告及び今後の方針について検討するため、会議を書面にて開催しました。(2月4日) (2) 献血活動 町献血推進協議会に補助金を交付しました。(献血回数5回、献血者数135人) (3) 骨髄ドナー助成事業 平成31年4月から骨髄ドナー及びドナーが勤務する事業所に対し助成する事業を開始しました。 助成対象者 0人 (4) 災害時に備えた保健活動 ア 2月1日に県と協働で保健師災害初動時体制構築訓練を実施しました。 イ 災害時の保健活動に必要な物品の使用期限の確認を行いました。 ウ 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の入力訓練を実施しました。 エ コロナ禍を想定した避難所開設訓練(いこまい館)に参加しました。 (5) 会議の参加 ア 尾張東部医療圏域保健医療福祉推進会議 書面会議 2人 イ 尾張東部地域救急医療対策連絡協議会 2人 ウ 愛知県市町村保健師協議会(ウェブ会議) 1人 エ 健康寿命延伸都市協議会(ウェブ会議) 1人 オ 瀬戸保健所栄養士総会等栄養及び栄養士に関する会議 書面会議 1人 カ 東名古屋保健連絡協議会事務担当者会議 6人 キ あいち医療通訳システム推進協議会 1人 ク いこまい会議 81人 (5)の合計95人 (6) 研修 感染症、健康増進、母子保健、栄養、歯科、災害及び保健師のスキルアップ等の研修に参加しました。 18人 (5)+(6)=113人	

5	活動指標	指標名	会議及び研修に参加した延べ人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
				平成30年度	人 195.00	人 個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	人 171.00	人
				令和2年度	人 68.00	人
				令和3年度	人 113.00	人
6	直接事業費計	前年度決算額	2,868,772 円	決 算 額	3,600,086 円	

I. 事務の目的体系

1	事業名	医師会・歯科医師会関係事業	コード	01	04	01	01	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	医師会・歯科医師会
3	どのような状態に したいのか(意図)	町と医師会及び歯科医師会との連携を図り、保健事業を円滑に実施します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>医師会・歯科医師会関係事業 町民の健康保持と保健衛生業務を円滑に運営することを目的として、東名古屋東郷町医師会及び愛豊歯科医師会東郷支部に対し、助成金を交付しました。 また、医師及び歯科医師との連絡調整のため、医師連絡会及び歯科医師連絡会（情報提供）を開催しました。</p> <p>(1) 医師会（医師26人） 助成額 400,000円 ア 消毒物品等の購入 各医療機関にて健康相談や健康教育を安全に実施できるよう、環境整備用の消毒物品等を購入しました。 イ 医師会講演会 演題「その息切れ、歳のせいだと思いませんか」 3月5日実施 参加者数 37人 ウ 医師連絡会 3回開催（随時情報提供を行いました。）</p> <p>(2) 歯科医師会（歯科医師19人） 助成額 264,000円 ア 8020・8820運動表彰 愛豊歯科医師会に加入するかかりつけ医にて表彰を行いました。 8020表彰 92人 8820表彰 9人 イ 歯科医師連絡会 開催なし（随時情報提供を行いました。）</p> <p>(3) あいち医療通訳システム 愛知県で実施している外国人県民と医療機関の言葉の壁をなくすための通訳派遣及び電話通訳等のシステムに対し助成を行いました。 東郷町利用数 5人</p>
---	-----------------------	--

5	指標名	医師・歯科医師連絡会の開催回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			平成30年度	6.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		令和元年度	6.00	回
			令和2年度	1.00	回
			令和3年度	3.00	回
6	直接事業費計	前年度決算額	838,357 円	決算額	1,043,803 円

I. 事務の目的体系

1	事業名	東郷診療所特別会計繰出金事業	コード	01	04	01	01	04	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	東郷診療所受診者
2	働きかける相手(対象)	東郷診療所特別会計
3	どのような状態に したいのか(意図)	東郷診療所特別会計の健全な運営を確保し、診療所事業を円滑に運営します。

東郷診療所特別会計繰出金事業
東郷診療所特別会計のうち、訪問看護事業に対する財源として、一般会計から2,287,000円を繰り出しました。

4 評価対象年度にどのようなことを実施したのか

5	指標名	一般会計繰出金額	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			平成30年度	円 2,316,000.00	円	個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	令和元年度	円 2,175,000.00	円		
		令和2年度	円 2,201,000.00	円		
		令和3年度	円 2,287,000.00	円		
6	直接事業費計	前年度決算額	2,201,000 円	決算額	2,287,000 円	

款	04	衛生費	予 算 現 額	824,961,738 円
項	01	保健衛生費	決 算 額	631,575,564 円
目	02	予防費	前年度決算額	180,832,449 円
			対 前 年 比	349.3 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	感染症まん延防止事業	コード	01	04	01	02	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	予防接種法及び感染症法上の対象者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	感染の恐れがある疾病の発生及びまん延の予防が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 感染症予防事業 (1) 広報等での周知啓発 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、正しい手洗い方法や相談先を広報等で周知しました。 (2) 避難所開設訓練(感染症対策編)への参加 安全安心課主催の訓練に参加し、感染症が発生している状況における避難所の受付方法など職員の避難所開設体制を確認しました。
		2 定期予防接種事業(法律に基づいたワクチン接種) (1) 乳幼児予防接種 ア BCG 314人 イ 四種混合 1,275人 ウ 二種混合 370人 エ 麻しん風しん 739人(1期 317人 2期 422人) オ 日本脳炎 1,149人 カ Hib感染症 1,266人 キ 小児用肺炎球菌 1,274人 ク 子宮頸がん 179人 ケ 水痘(水ぼうそう) 648人 コ B型肝炎 946人 サ ロタウイルス感染症 644人 計 8,804人…① (内町外接種者 1,694人) (2) 成人を対象とした予防接種 昭和37年4月2日生から昭和54年4月1日までの男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を行いました。(平成31年4月1日から令和4年3月31日までの時限措置) ア インフルエンザ 5,862人 イ 高齢者肺炎球菌 312人 ウ 男性の風しん予防接種 128人 ア～ウ 計6,302人…② (内町外接種者1,269人) エ 男性の風しん抗体検査 620人 3 任意予防接種事業 風しん対策事業として、妊娠を希望する女性(経産婦を含む)で風しんの抗体のない人に風しんワクチン接種費用の半額助成を実施しました。助成人数 13人…③ ①+②+③=15,119人

5	活動指標	指標名	予防接種延べ人数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	人 16,137.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	予防接種、任意予防接種の延べ人数	令和元年度	人 15,464.00	人	
				令和2年度	人 16,757.00	人	
			令和3年度	人 15,119.00	人		
6	成果指標	指標名	麻しん風しん1期接種率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 接種率100%を目標とします。
				平成30年度	% 95.65	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)	(麻しん風しん1期接種者)÷(対象者)×100	令和元年度	% 96.52	% 100.00	
				令和2年度	% 91.00	% 100.00	
			令和3年度	% 91.60	% 100.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	130,035,002 円	決 算 額	120,668,690 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	成人保健健康診査事業	コード	01	04	01	02	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	健康診査等受診者
2	働きかける相手(対象)	健康診査等を職場などで受ける機会のない人、医療機関
3	どのような状態に したいのか(意図)	検診及び健康診査に対する受診意識の向上を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>成人保健健康診査事業 各種がん検診、女性特有のがん検診推進事業、肝炎ウイルス検診、結核検診、歯周病検診、骨粗しょう症検診及び20～39歳の方のための健診を行いました。 また、保健事業年間スケジュールを作成し、保健事業の啓発を行うとともに、令和2年度の保健活動のまとめと評価を行い「東郷の保健活動」を作成しました。</p> <p>(1) 各種がん検診 合計 7,701人 ア 胃がん 40歳以上 1,208人 (内胃内視鏡検査140人) イ 大腸がん 40歳以上 2,465人 ウ 子宮頸がん 20歳以上 992人 (妊婦健診と同時に実施した分は母子健康診査事業に記載あり。) エ 乳がん 40歳以上 910人 オ 肺がん 40歳以上 1,245人 (内喀痰検査を合わせて受診 53人) カ 前立腺がん 50歳以上 881人</p> <p>(2) 女性特有のがん検診推進事業 ※実績数値は(1)の各種がん検診の数字に含まれます。 ア 子宮頸がん 20歳 88人 (対象者 236人) イ 乳がん 40歳 18人 (対象者 287人)</p> <p>(3) 肝炎ウイルス検診 74人 (4) 歯周病検診 30・35・40・45・50・55・60・65・70・75・80歳 377人 (5) 骨粗しょう症検診 212人 (6) 20～39歳の方のための健診 222人 (7) 結核検診 65歳以上 3,619人 (肺がん検診としての実施分は除く。) (8) 8020運動表彰 表彰者 92人 (9) 8820運動表彰 表彰者 9人</p>
---	-----------------------	---

5	活動指標	指標名	がん検診受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	人 7,915.00	人 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、前立腺がん受診者数	令和元年度	人 8,651.00	人	
				令和2年度	人 5,906.00	人	
		令和3年度	人 7,701.00	人			
6	成果指標	指標名	胃がん検診受診率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度の愛知県内の平均値を目標値とします。
				平成30年度	% 13.70	% 16.00	
		指標の説明 (指標式)	40歳以上の胃がん検診受診率	令和元年度	% 13.11	% 9.50	
				令和2年度	% 10.00	% 8.00	
		令和3年度	% 10.48	% 5.70			
7	直接事業費計	前年度決算額	39,088,066 円	決算額	49,716,246 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	成人保健健康教育事業	コード	01	04	01	02	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	健康講座等で健康教育を受ける人等、町民(40歳から64歳までの町民)
3	どのような状態に したいのか(意図)	健康的な生活を送ることができるよう健康に関する意識を高め、正しい知識を持って健康づくりに取り組むことができるようになります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成人保健健康教育事業 (1) 健康講演会(きらめきエクササイズ) 町民を対象に、健康づくりに取り組むきっかけの場として、ストレッチ体操を始めとする教室をオンラインにて実施しました。 開催回数6回(2クール) 参加者 106人 (2) とうごう体操普及推進事業 とうごう体操出前講座 地区等からの依頼により、とうごう体操の実演や講習会を開催しました。 開催回数1回 参加者9人 (3) あいち健康マイレージ 愛知県と東郷町の協働事業としてチャレンジシートを作成し、6月1日から開始しました。日々の健康づくりができる環境の整備や動機付けを行いました。 100ポイント達成者 266人 (内「まいか」取得者 182人) (1)~(3)の合計 7回 381人 (4) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、以下の教室を中止しました。 ・文化産業まつり健康コーナー ・とうごう体操健康講座、とうごう体操普及ボランティア養成講座等			
---	-----------------------	---	--	--	--

5	活動指標	指標名	成人保健健康教育の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値			
			平成30年度	回	62.00	回	個別計画による目標値はありません。		
		指標の説明 (指標式)	地区の健康講座(健康づくり地区活動支援事業)を除く成人保健健康教育の実施回数	令和元年度	回	42.00		回	
			令和2年度	回	13.00	回			
令和3年度	回	7.00	回						
6	成果指標	指標名	成人保健健康教育の参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績		
			平成30年度	人	3,044.00	人		3,253.00	
		指標の説明 (指標式)	地区の健康講座(健康づくり地区活動支援事業)を除く成人保健健康教育の参加者数	令和元年度	人	2,647.00		人	3,044.00
			令和2年度	人	177.00	人		2,647.00	
令和3年度	人	381.00	人	177.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	616,951 円	決算額	1,205,651 円				

I. 事業の目的体系

1	事業名	成人保健相談・訪問指導事業	コード	01	04	01	02	04	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	① 疾病予防・健康増進の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	相談(訪問)が必要な人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	相談者が心身の健康に関する相談、指導及び助言を受けることができ、家庭における健康管理が促進されるようにします。また、心身機能の低下の防止と健康の保持増進が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	成人保健相談・訪問指導事業	
		(1) 健康相談 239人 ア みんなの栄養相談(毎週月～金曜日、ただし祝日は除く。) 7人 内容 栄養相談、食生活に関する相談、離乳食の相談など イ からだ・こころの健康相談(毎週月曜日、ただし祝日は除く。) 10人 内容 からだやこころに関する相談(発熱などの相談含む) ウ 20～39歳の方のための健診結果説明・相談会 222人 (内、重点健康相談を受けた人数 126人) エ 文化産業まつり健康コーナーは、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため中止しました。 (2) 成人訪問指導 訪問相談 1件 (3) 在宅ケアを考える会(多職種カンファレンス)への参加 1回 (4) 「こころの体温計」 内容 携帯電話やパソコンを利用して、ストレス度や落ち込み度が分かるメンタルチェックシステム アクセス数 町内 4,661件、町外 2,036件	

5	活動指標	指標名	20～39歳の方のための健診結果説明・相談を受けた人数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	人 188.00	人 個別計画による目標値はありません。	
				令和元年度	人 202.00	人	
				令和2年度	人 0.00	人	
令和3年度	人 222.00	人					
6	成果指標	指標名	20～39歳の方のための健診後説明・相談にて、重点健康相談を受けた人数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	重点とは、高血圧・高脂血症・糖尿病・歯周疾患・骨粗しょう症・肥満等についての相談・指導のことをいいます。	平成30年度	人 89.00	人 192.00	前年度の実績値
				令和元年度	人 79.00	人 89.00	
				令和2年度	人 0.00	人 79.00	
令和3年度	人 126.00	人 0.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	181,355 円	決算額	480,825 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	健康づくり地区活動支援事業	コード	01	04	01	02	05	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	② 地域ぐるみの健康づくり						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	地区における健康づくり活動に関心がある人・関係機関
3	どのような状態に したいのか(意図)	町民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、生涯を通じた健康づくりを主体的に地域で取り組むことができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	健康づくり地区活動支援事業 健康づくり地区活動支援(児童館、自治会、老人クラブ等からの依頼による健康に関する講座の実施や活動の支援)を実施しました。	
		(1) 健康づくり地区活動支援(地区の健康講座)は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、集会など開催されず、実施ができませんでした。 (2) 健康づくり活動支援 33回 302人 ア 健康づくりリーダー活動支援(健康体操教室) 9回 125人 イ 食生活改善推進員活動支援(定例会、研修会、勉強会) 15回 143人 ウ 食生活改善推進員養成講座 9回 34人	

5	活動指標	指標名	健康づくり地区活動支援の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		指標の説明 (指標式)	平成30年度	41.00	回	個別計画による目標値はありません。
			令和元年度	24.00	回	
			令和2年度	0.00	回	
			令和3年度	33.00	回	

6	成果指標	指標名	健康づくり地区活動支援の参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	平成30年度	1,176.00	人	840.00	前年度実績
			令和元年度	594.00	人	1,176.00	
			令和2年度	205.00	人	594.00	
			令和3年度	302.00	人	205.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	40,000 円	決算額	149,926 円
---	--------	--------	----------	-----	-----------

I. 事業の目的体系

1	事業名	救急医療対策事業	コード	01	04	01	02	06	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	01 健康づくりを推進する						
		施策の展開方向	④ 医療体制の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	救急医療を必要とする人
2	働きかける相手(対象)	休日急病診療所、救急病院
3	どのような状態に したいのか(意図)	早急に医療行為が必要な人が、安心して治療ができるよう医療機関が確保され、その体制が維持できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>救急医療対策事業 愛知県の救急医療体制が構築されているなか、尾張東部医療圏に属する本町は、第1次救急医療施設の休日急病診療所と第2次救急医療施設の尾張東部地域救急医療対策連絡協議会(5市1町)の救急病院に運営費を支出しました。</p> <p>(1) 第1次救急医療施設 日進市休日急病診療所(日進市) 令和2年度休日急病診療所利用状況</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 東郷町</td> <td>238人</td> <td>15.7%</td> </tr> <tr> <td>イ 日進市</td> <td>833人</td> <td>54.8%</td> </tr> <tr> <td>ウ 長久手市</td> <td>322人</td> <td>21.2%</td> </tr> <tr> <td>エ その他</td> <td>127人</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,520人</td> <td></td> </tr> </table> <p>(2) 第2次救急医療施設 日進おりど病院(日進市)、旭労災病院(尾張旭市) 日進おりど病院と旭労災指定病院です。また、陶生病院が、第3次救急医療施設(第2次救急医療機関の後方病院として脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷その他特殊診療部門(熱傷、小児、中毒等)における重篤救急患者の救命医療を担当する。)に指定されています。</p> <p>※第1次救急医療施設とは、救急医療体制下において、傷病の初期及び急性期症状の医療を担当し、第2次救急医療施設への選別機能を持つ医療機関をいう。 ※第2次救急医療施設とは、第1次救急医療施設の後方病院として、入院又は緊急手術を要する救急患者の医療を担当する医療機関をいう。</p>				ア 東郷町	238人	15.7%	イ 日進市	833人	54.8%	ウ 長久手市	322人	21.2%	エ その他	127人	8.3%	計	1,520人	
		ア 東郷町	238人	15.7%																
イ 日進市	833人	54.8%																		
ウ 長久手市	322人	21.2%																		
エ その他	127人	8.3%																		
計	1,520人																			

5	活動指標	指標名	日進市休日急病診療所(東名古屋医師会運営)受診者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	平成30年度	人 4,017.00	人	個別計画による目標値はありません。	
			令和元年度	人 3,598.00	人		
			令和2年度	人 4,017.00	人		
			令和3年度	人 1,520.00	人		
6	成果指標	指標名	日進市休日急病診療所(東名古屋医師会運営)を受診した東郷町民の数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	平成30年度	人 610.00	人 608.00	過去3年間の実績値の平均	
			令和元年度	人 557.00	人 614.00		
			令和2年度	人 610.00	人 605.00		
			令和3年度	人 238.00	人 592.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	3,115,206 円	決算額	3,989,716 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業	コード	01	04	01	02	07	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び町内医療機関
2	働きかける相手(対象)	町民及び町内医療機関
3	どのような状態にしたいのか(意図)	感染症の発生及びまん延の予防が図られるようにします。感染者にとって自宅療養期間に必要な療養品が整う支援します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 感染予防対策 (1) ホームページにて、感染症予防に関連する情報を掲載しました。 (2) 町新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを感染状況に基づき変更し、いこまい館内の感染予防対策を施設サービス(株)と協議しました。	
		2 感染者や感染症疑いの方への支援 (1) 感染症に関する相談 発熱等に関することや受診方法についての電話相談を実施しました。 270件 (2) 生活支援事業 陽性患者のうち、保健所から自宅療養を指示された者に対し、自宅療養支援品の支給、買い物支援、薬の受け取りを実施しました。 自宅療養支援品支給 286世帯(療養物品286セット 支援品565セット) 買い物支援 実20回 延25回 薬の受け取り 実7回 延7回	

5	活動指標	指標名	感染症に関する電話相談件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	件	個別計画による目標値はありません。
				令和元年度	30.00	
				令和2年度	121.00	
令和3年度	270.00					

6	成果指標	指標名	生活支援事業の実施回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	回	回	前年度実績
				令和元年度	回	回	
				令和2年度	7.00	0.00	
令和3年度	286.00	7.00					

7	直接事業費計	前年度決算額	34,281 円	決算額	2,394,285 円
---	--------	--------	----------	-----	-------------

I. 事業の目的体系

1	事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業	コード	01	04	01	02	08	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	5歳以上の町民
3	どのような状態に したいのか(意図)	新型コロナウイルス感染症の発症、重症化及びまん延の防止を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>新型コロナウイルスワクチン接種事業 新型コロナウイルスワクチン接種が、予防接種法第6条第1項に規定する臨時の予防接種とされたことに伴い、ワクチン接種を実施しました。</p> <p>(1) 接種者数(令和4年3月31日時点)</p> <p>ア 1回目 34,958件 イ 2回目 34,495件 ウ 3回目 20,112件</p> <p>(2) 接種率(令和4年3月31日時点)</p> <p>ア 1回目 81.22% (うち65歳以上 94.76%) イ 2回目 79.76% (うち65歳以上 94.49%) ウ 3回目 45.98% (うち65歳以上 89.15%)</p> <p>(3) 接種体制</p> <p>ア 接種券の発送</p> <p>(ア) 1、2回目接種は、65歳以上の方を4月16日から、基礎疾患のある方及び64歳以下の方は予約状況に応じて6月18日から、順次発送しました。 (イ) 3回目接種は、接種可能日の2、3週間前を目安に順次発送しました。</p> <p>イ 予約方法</p> <p>(ア) 町公式LINE及び町コールセンターで予約を受付しました。 (イ) 3回目接種では65歳以上の方を日時指定でご案内しました。</p> <p>ウ 接種会場の確保</p> <p>(ア) 集団接種</p> <p>1回目接種を5月10日から、3回目接種を12月5日から(65歳以上は、2月1日から)開始しました。 A 接種会場 いこまい館1か所 b 実施回数 延158回(うち、ファイザー141回、モデルナ14回、小児用ファイザー3回)</p> <p>(イ) 個別接種</p> <p>1回目接種を5月31日から、3回目接種を12月17日から(65歳以上は、2月20日から)開始しました。 A 接種会場 町内協力医療機関 b 医療機関数 計23医療機関(1、2回目19医療機関、3回目22医療機関、小児用ファイザー2医療機関)</p> <p>(ウ) 愛知県大規模接種(町で予約を行った場合のみ抜粋)</p> <p>a 接種会場 藤田医科大学会場 b 実施回数 14回</p>
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名 新型コロナウイルスワクチン接種者数(延べ件数)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
			平成30年度	件	件	個別計画による目標値はありません。
			令和元年度	件	件	
			令和2年度	184.00	件	
令和3年度	89,565.00	件				
6	成果指標	指標名 新型コロナウイルスワクチン1回目接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 国の新型コロナウイルスワクチン1回目接種率
			平成30年度	%	%	
			令和元年度	%	%	
			令和2年度	0.00	0.00	
令和3年度	81.22	80.27				
7	直接事業費計	前年度決算額	7,721,588 円	決算額	452,970,225 円	

款	04	衛生費	予 算 現 額	70,568,000 円
項	01	保健衛生費	決 算 額	63,453,417 円
目	03	母子保健費	前 年 度 決 算 額	58,251,574 円
			対 前 年 比	108.9 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	母子保健健康診査事業	コード	01	04	01	03	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基 本 施 策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2	働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	妊婦・乳幼児が健康診査並びに保健指導を受けることができ、健康保持、育児上の不安解消及び母子の疾病予防が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	母子保健健康診査事業 (1) 健康診査の状況 (1)ア～キ 合計6,071人 妊産婦及び乳幼児を対象とした健診(妊婦健診(14回)、産婦健診、乳児健診(2回)、妊産婦歯科健診、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診)を実施しました。なお、2歳児歯科健診については中止しました。 ア 妊婦健診・子宮頸がん健診 一般 3,979人(内県外・助産所受診 延べ124人) 子宮頸がん 304人 イ 産婦健診 318人(内県外受診 延べ16人) ウ 乳児健診(県外受診含む) 543人(内県外受診 延べ16人) エ 妊産婦歯科健診 116人 オ 4か月児健診 303人(対象者316人、受診率95.9%、要精密検査5人) カ 1歳6か月児健診 359人(対象者355人、受診率101.1%、要精密検査10人) キ 3歳児健診 453人(対象者467人、受診率97.0%、要精密検査42人) (2) むし歯予防の取り組み 1歳6か月児健診で個別指導を行いました。 (3) 健診未受診者対策 受診のない児には、電話で受診勧奨し、受診できない児へは家庭訪問や面接、入園状況の確認等で児の所在及び発達確認を行いました。所在が未確認の児については、子育て応援課に所在不明児童調査の依頼をしました。所在不明児童調査依頼 0件、調査結果 海外への出国を確認 0件 (4) 健診での他機関との協働 3歳児健診において町保育士が同席し、就園に向けた支援のため児の発達等の情報共有を行いました。 (5) 妊産婦タクシー助成 妊娠中から安全安心に移動できる手段として、妊婦1人当たり10,000円分のタクシー助成券を配付しました。 ア タクシー券申請者数 372人 イ 利用者人数及び利用率 延べ297人(実人数179人) 48.1%
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	健診受診者数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	妊婦健診、子宮頸がん健診、産婦健診、乳児健診、妊産婦歯科健診、4か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診の合計受診者数	平成30年度	人 7,970.00	人 個別計画による目標値はありません。	
				令和元年度	人 7,521.00	人	
				令和2年度	人 6,288.00	人	
			令和3年度	人 6,071.00	人		
6	成果指標	指標名	1歳6か月児健診受診率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 いきいき東郷21計画の目標値100%を目標とした。
		指標の説明 (指標式)	健診受診者÷健診対象者×100	平成30年度	% 96.33	% 100.00	
				令和元年度	% 97.90	% 100.00	
				令和2年度	% 94.00	% 100.00	
			令和3年度	% 101.10	% 100.00		
7	直接事業費計	前年度決算額	43,343,400 円	決 算 額	46,775,871 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	母子保健教育事業	コード	01	04	01	03	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
2	働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	離乳食教室、パパママ教室等の保健教育について、乳幼児及び保護者の健康が保持され、子育てに関する正しい知識の習得や仲間づくりの機会を設けます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	母子保健教育事業 新型コロナウイルス感染症対策のもと、教室を開催しました。	
		<ul style="list-style-type: none"> (1) 離乳食教室 <ul style="list-style-type: none"> ア 内容 離乳食の基本の習得を目的に離乳食についての講話を実施しました。 イ スタッフ 管理栄養士、保健師 ウ 実施回数及び実績 12回 実人数 初産婦55人、経産婦4人、父親2人 合計61人 (2) マタニティクラス(初期編) <ul style="list-style-type: none"> ア 内容 妊娠期における食生活及び体と心の変化について イ スタッフ 管理栄養士、保健師 ウ 実施回数及び実績 6回(うち1回はオンラインで実施) 実人数 妊婦14人、パートナー6人 (3) マタニティクラス(後期編) <ul style="list-style-type: none"> ア 内容 沐浴指導、出産時の心得及び陣痛緩和マッサージについての講話を実施しました。 イ 講師 助産師 ウ 実施回数及び実績 5回 実人数 妊婦23人、パートナー等18人 (4) なかよし教室(集団クラス) <ul style="list-style-type: none"> ア 内容 遊びを通して子どもとの関わり方や声かけの方法を学ぶ機会としました イ 講師 臨床心理士 スタッフ 保育士、保健師 ウ 実施回数及び実績 9回 実人数(児)19人、延べ人数(児)54人 (5) なかよし教室(個別相談) <ul style="list-style-type: none"> ア 内容 臨床心理士による相談を実施し、遊びを通じた子どもとの関わり方等についての助言を行いました。 イ 講師 臨床心理士 ウ 実施回数及び実績 11回 実人数(児)29人、延べ人数(児)30人 (6) 双子交流会 <ul style="list-style-type: none"> ア 多胎児を育児している保護者の交流会を実施しました。多胎児を妊娠した妊婦にも教室の案内をし、妊娠期からの参加を促しました。 イ 実施回数 1回 ウ 実績 参加4組(うち多胎妊婦2組) 	

5	活動指標	指標名	なかよし教室参加人数(実人数)	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			指標の説明 (指標式)	平成30年度	人	64.00
		令和元年度		人	46.00	
		令和2年度		人	30.00	
		令和3年度		人	48.00	

6	成果指標	指標名	1歳6か月児健診時、親・家庭の要因で継続支援等が必要と判断されなかった人の割合	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 1歳6か月児健診において「親・家庭の要因で継続支援等が必要」と判断された人がいないことを目標とします。
			指標の説明 (指標式) $\frac{1歳6か月児健診時、親・家庭の要因で継続支援等が必要と判断されなかった人}{1歳6か月児健診受診者} \times 100$	平成30年度	%	94.59	
		令和元年度		%	93.20	100.00	
		令和2年度		%	90.00	100.00	
		令和3年度		%	92.20	100.00	

7	直接事業費計	前年度決算額	169,952 円	決算額	316,735 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

I. 事業の目的体系

1	事業名	母子保健相談・訪問指導事業	コード	01	04	01	03	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者							
2	働きかける相手(対象)	妊産婦とその夫、乳幼児とその保護者							
3	どのような状態にしたいのか(意図)	適切な保健指導・育児相談が受けられるようにし、妊産婦・乳幼児の健康が保持され、育児上の不安が解消されるようにします。							
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 母子健康包括支援センター</p> <p>(1) 母子健康手帳交付時の面接、マタニティコール及びハッピーコール 303人(うち多胎妊娠8人) 母子健康手帳交付数 311冊</p> <p>(2) 要支援妊婦の把握及び支援カンファレンス 13回</p> <p>(3) 支援プラン作成数 9件</p> <p>2 母子保健相談 健康づくりセンターにおいて下記の相談を実施しました。</p> <p>(1) 育児相談(就学前児童対象)</p> <p>ア 内容 保健師・管理栄養士による育児相談を実施しました。</p> <p>イ 実施回数 育児相談・栄養相談 11回</p> <p>ウ 実績 乳児(実人数 60人、延べ人数 99人) 幼児(実人数 49人、延べ人数 72人)</p> <p>(2) 離乳食相談・栄養相談</p> <p>ア 内容 赤ちゃん相談及び育児相談時に管理栄養士による栄養相談を実施しました。</p> <p>イ 実績 延べ27人</p> <p>(3) オンライン育児相談・栄養相談</p> <p>ア 内容 外出を控える保護者向けに、オンラインによる保健指導・相談(予約制)を月1回計画しました。</p> <p>イ 開催回数及び実績 0回 0人(実人数) (1)及び(3)合計 171人</p> <p>(4) ことばの相談</p> <p>ア 内容 臨床心理士によることばの発達相談を実施し、保健指導を実施しました。</p> <p>イ 実施回数及び実績 11回 30人(実人数)</p> <p>3 訪問指導事業 赤ちゃん訪問(未熟児を含む)を始めとする訪問指導を実施しました。</p> <p>(1) 妊婦訪問 実人数 3人 訪問回数 3回</p> <p>(2) 赤ちゃん訪問 実人数 321人(内他市町村に依頼 8人)</p> <p>(3) 産婦訪問 実人数 321人(内他市町村に依頼 8人) 対象産婦数 324人</p> <p>(4) 乳児・幼児訪問 実人数 36人 訪問回数 22回</p> <p>(5) 歯科衛生士訪問 実人数 0人 訪問回数 0回</p> <p>(6) 産後ケア訪問 実人数 0人 訪問回数 0回</p>							
5		活動指標	指標名	育児相談(オンライン含む)件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明(指標式)		平成30年度	人 549.00	人			
				令和元年度	人 615.00	人			
				令和2年度	人 311.00	人			
				令和3年度	人 171.00	人			
6	成果指標	指標名	新生児家庭訪問実施率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法		
				平成30年度	% 99.20	% 100.00	前年度実績の10%増。ただし、平成25年度からは100%とする。		
		指標の説明(指標式)	委託助産師・町保健師・保健所保健師による訪問者率	令和元年度	% 99.20	% 100.00			
				令和2年度	% 98.00	% 100.00			
				令和3年度	% 99.07	% 100.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	6,694,072 円	決算額	9,941,626 円				

I. 事業の目的体系

1	事業名	発達障がい早期総合支援事業	コード	01	04	01	03	04	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
2	働きかける相手(対象)	幼児とその保護者、児童、生徒、発達障がい児を支援する人
3	どのような状態にしたいのか(意図)	発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する正しい支援方法を、保護者や支援者が理解し、発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童が生活しやすい環境を整えます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>早期総合支援体制</p> <p>(1) 4歳5歳児発達相談</p> <p>ア 内容 臨床心理士による発達検査を実施し、保健指導を実施しました。</p> <p>イ 実施状況 実施回数10回、実人数20人…①</p> <p>(2) すくすく発達相談(5歳児スクリーニング)事業</p> <p>発達障がいの早期発見と、保護者及び保育士に対し支援方法の指導を実施するため、町内保育園・幼稚園のうち4園を対象に巡回し、保護者アンケート等を参考に、発達障がいの特徴のある児童への園での対応について助言等を行いました。また、必要な園児、希望する園児には後日発達検査、発達相談を実施しました。</p> <p>アンケート回収:155人 発達検査、発達相談の実施 12人</p> <p>(3) 小学校等巡回相談</p> <p>発達障がい傾向にある児童の支援方法を現場支援者(教員等)と検討しました。</p> <p>実施状況 町内小学校 3回(相談児童3人)、町内中学校 2回(相談生徒2人) 合計5回</p> <p>(4) 発達障がい早期総合支援連絡協議会</p> <p>発達障がい児及び発達障がいの特徴のある児童に対する支援体制の充実を図るための協議会です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために書面会議としました。</p> <p>(5) 発達障がい早期総合支援研修会</p> <p>発達障がい傾向のある児童や生徒にかかわる職員(保育士、小中学校の介助員、放課後子ども教室担当者、相談員、保健師等)に対しオンライン研修(一部来場)を実施しました。参加者81人</p> <p>講演会 「発達障害の子どもの『できる』を増やす提案・交渉型アプローチ -叱らないけど譲らない指導・支援を考える-」 講師 和歌山大学 武田 鉄郎氏</p> <p>(2)~(3)合計 172人…②</p> <p>①+②=合計192人</p>	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	発達検査、発達相談、すくすく発達相談、小学校等巡回相談における相談児童・生徒数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	人 356.00	人 個別計画による目標値はありません。	
				令和元年度	人 365.00	人	
				令和2年度	人 341.00	人	
令和3年度	人 192.00	人					
6	成果指標	指標名	小学校等巡回相談実施回数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 小学校等巡回相談を全小中学校にて実施します。
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	回 13.00	回 9.00	
				令和元年度	回 11.00	回 9.00	
				令和2年度	回 6.00	回 9.00	
令和3年度	回 5.00	回 9.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	428,584 円	決算額	402,500 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	不妊治療費事業	コード	01	04	01	03	05	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	2 子どもがのびのび育つまち【子育て・教育・文化】						
		基本施策	01 子育てしやすい環境をつくる						
		施策の展開方向	① 子育て支援の充実						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	不妊症や不育症に悩む夫婦
2	働きかける相手(対象)	不妊症や不育症に悩む夫婦
3	どのような状態に したいのか(意図)	不妊や不育に悩む夫婦に対し、治療に係る経済的な負担の軽減が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	不妊治療費事業 (1) 不妊治療 (不妊治療に要する費用の一部を助成しました。) 合計85件 ア 一般不妊治療 35件 イ 特定不妊治療 50件 (2) 不育症治療 (不育症治療に要する費用の一部を助成しました。) 不育症治療 1件	

5	活動指標	指標名	不妊治療・不育症治療費申請延べ件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	件 82.00	個別計画による目標値はありません。	
				令和元年度	件 103.00		
				令和2年度	件 111.00		
令和3年度	件 86.00						
6	成果指標	指標名	不妊治療費助成金支給額	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	円 5,965,100.00	円 5,955,233.00	前年度実績
				令和元年度	円 7,235,916.00	円 5,965,100.00	
				令和2年度	円 7,615,566.00	円 7,235,916.00	
令和3年度	円 6,016,685.00	円 7,615,566.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	7,615,566 円	決算額	6,016,685 円		

款	04	衛生費	予 算 現 額	153,728,000 円
項	01	保健衛生費	決 算 額	153,476,833 円
目	04	いこまい館費	前 年 度 決 算 額	190,661,063 円
			対 前 年 比	80.5 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	いこまい館管理事業	コード	01	04	01	04	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	6 みんなでつくるまち【参画・協働】						
		基 本 施 策	04 将来を見据えた行財政運営を進める						
		施策の展開方向	④ 町有施設の総合管理						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	施設利用者
2	働きかける相手(対象)	指定管理者、施設、施設利用者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	いこまい館を利用する人が安心して快適に利用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	いこまい館管理事業	
		(1) いこまい館施設維持管理業務 指定管理者により施設の管理運営を実施しました。指定管理期間は平成30年度から令和4年度までの5年間です。 年間施設利用者数は、有料施設104,452人、無料施設7,942人、合計112,394人でした。	
		ア 有料施設 (104,452人)	
		(ア) トレーニングジム 32,982人	
		(イ) 水中トレーニング室 18,539人	
		(ウ) 介助浴室 64人	
		(エ) 自主活動スペース (52,867人)	
		a 多目的室A 13,056人	
		b 多目的室B 5,738人	
		c 調理室・ラウンジ 1,061人	
		d 会議室A 1,804人	
		e 会議室B 4,377人	
		f 和室(3室) 4,395人	
		g 音楽練習室 1,274人	
		h 指導会議室(2室) 21,162人	
		イ 無料施設 (7,942人)	
		(ア) 町民活動センター 4,318人	
		(イ) おもちゃルーム 3,504人	
		(ウ) 無料町民ギャラリー 28日間(3団体)※利用日数のみ	
		(エ) シニアハウス 120人	
		(2) 計画等作成委託料	
		ア いこまい館長寿命化計画策定支援業務 1式	
		(3) 施設整備工事	
		ア いこまい館芝生ステージ改修工事 1式	

5	活動指標	指標名	管理運営会議の開催数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
				平成30年度	回 12.00	回 個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	施設設置者である町と指定管理者との管理運営会議	令和元年度	回 12.00	回
				令和2年度	回 12.00	回
			令和3年度	回 12.00	回	
6	成果指標	指標名	有料施設の利用人数	年 度	実 績 値	目 標 値
				平成30年度	人 188,702.00	人 183,791.00
		指標の説明 (指標式)	トレーニングルーム、水中トレーニング室等有料施設の利用人数	令和元年度	人 165,882.00	人 188,702.00
				令和2年度	人 36,889.00	人 165,882.00
			令和3年度	人 104,452.00	人 36,889.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	190,661,063 円	決 算 額	153,476,833 円	

款	04	衛生費	予 算 現 額	52,780,000 円
項	01	保健衛生費	決 算 額	50,567,126 円
目	05	環境衛生費	前年度決算額	50,020,568 円
			対 前 年 比	101.1 %

I. 事務の目的体系

1	事 業 名	環境衛生一般管理事業	コード	01	04	01	05	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	町民、職員
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態に したいのか(意図)	環境行政全般を円滑に推進します。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	環境衛生一般事務事業 (1) 愛知県主催の災害廃棄物処理計画研修、騒音・振動・悪臭担当者研修や関係機関の会議に参加しました。 (2) ハチの駆除剤、へび用捕獲棒、高所噴射用器具等を購入しました。	

5	指 標 名	研修会、協議会等への参加回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成30年度	回 31.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指 標 の 説 明 (指 標 式)		令和元年度	回 37.00	回
			令和2年度	回 23.00	回
			令和3年度	回 26.00	回
6	直接事業費計	前年度決算額	95,181 円	決 算 額	88,491 円

I. 事業の目的体系

1	事業名	狂犬病対策事業	コード	01	04	01	05	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	02 災害に強いまちをつくる						
		施策の展開方向	⑤ 感染症対策						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	犬の所有者、獣医
3	どのような状態に したいのか(意図)	国内で狂犬病が発生した場合に、発生の拡大とまん延防止を図るとともに、無登録犬の減少と飼い主のマナーの向上が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	狂犬病対策事業 飼い主へはがきによる予防注射案内を送付し、預託による予防注射を24病院で実施しました。 例年、接種率向上のため各地区に接種会場を設けて集合予防注射を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和2年度に続き当該年度においても中止しました。 (1) 犬登録頭数 3,251頭 (2) 注射頭数 2,310頭	

5	活動指標	指標名	狂犬病予防注射接種頭数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	2,370.00 頭	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	令和元年度	2,274.00 頭			
			令和2年度	2,340.00 頭			
令和3年度	2,310.00 頭						
6	成果指標	指標名	狂犬病予防注射接種率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値を目標値とします。
				平成30年度	79.11 %	76.90 %	
		指標の説明 (指標式)	狂犬病予防注射接種頭数÷登録犬数×100	令和元年度	74.93 %	79.11 %	
			令和2年度	74.00 %	74.93 %		
令和3年度	71.06 %		74.00 %				
7	直接事業費計	前年度決算額	811,808 円	決算額	1,028,456 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	環境保全事業	コード	01	04	01	05	04	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 環境保全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、自然
3	どのような状態に したいのか(意図)	緑豊かな東郷町を守り、自然の大切さを感じることができるよう、幼少期から環境に対する学習の機会を提供することで、町民自らが地域に愛着を持ち緑豊かな自然環境が保たれるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 環境保全事業 ホタル生息地の調査及びホームページで公表 (1) 調査回数 2回 (2) 調査場所 町内19か所	
		2 環境学習推進事業 例年、環境美化と保全、ごみの減量、リサイクル等を通して、子どもたちが環境や自然について楽しみながら学習できるイベントとして「こどもエコばんぱくin東郷」を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和2年度に続き当該年度においても中止しました。	

5	活動指標	指標名	事業開催数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	ホタル生息地調査及びこどもエコばんぱくの開催回数	平成30年度	回 1.00	回 個別計画による目標値はありません。	
				令和元年度	回 3.00	回	
				令和2年度	回 2.00	回	
令和3年度	回 2.00	回					
6	成果指標	指標名	環境保全関連事業参加者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値を目標値とします。(ただし、中止等により実績値がない場合は、直近の実績値を目標値とする。)
		指標の説明 (指標式)	こどもエコばんぱくの参加者数	平成30年度	人 0.00	人 2,200.00	
				令和元年度	人 2,100.00	人 2,200.00	
				令和2年度	人 0.00	人 2,100.00	
令和3年度	人 0.00	人 2,100.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	0 円	決算額	1,032,149 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	地球温暖化防止活動推進事業	コード	01	04	01	05	05	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	① 地球温暖化対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	一般家庭、事業者、町職員
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地球温暖化の防止、低炭素社会への転換、資源の有効利用、環境負荷の低減、環境保全等について、町民、事業者、職員が自ら率先して行動できるようにするとともに、環境にやさしいライフスタイルへの転換が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 東郷版ISO推進事業 東郷版ISOの普及 「東郷版ISOエコチャレンジ10」は、例年、文化産業まつりにおいてPR活動を実施していましたが、当該イベントが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止になったことに伴い、令和2年度に続き当該年度においても庁舎正面玄関ロビーで実施しました。
		2 東郷町地球温暖化対策設備導入促進費補助事業 地球温暖化対策設備の設置者に対して、設置及び購入に要する費用の一部を補助することにより、エネルギーの地産地消に対する意識の高揚を図るとともに、温室効果ガスの排出を抑制することで地球温暖化防止を促進することを目的として補助金を交付しました。 (1) 家庭用燃料電池システム 補助件数 8件 補助金額 400,000円 (2) 定置用リチウムイオン蓄電システム 補助件数 19件 補助金額 950,000円 (3) 家庭用エネルギー管理システム 補助件数 10件 補助金額 100,000円 (4) 電気自動車等充電設備 補助件数 0件 補助金額 0円 (5) 一体的導入① (住宅用太陽光発電施設+定置用リチウムイオン蓄電システム+家庭用エネルギー管理システム) 補助件数 16件 補助金額 3,200,000円 (6) 一体的導入② (一体的導入①+電気自動車等充電設備) 補助件数 0件 補助金額 0円

5	活動指標	指標名	東郷版ISO参加者数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	人 61.00	人 個別計画による目標値はありません。
				令和元年度	人 80.00	人
				令和2年度	人 90.00	人
令和3年度	人 42.00	人				

6	成果指標	指標名	東郷版ISO認定者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	東郷版ISOエコチャレンジ10において認定された人数	平成30年度	人 61.00	人	前年度実績値を目標値とします。
				令和元年度	人 80.00	人 61.00	
				令和2年度	人 90.00	人 80.00	
令和3年度	人 42.00	人 90.00					

7	直接事業費計	前年度決算額	5,140,500 円	決算額	4,702,464 円
---	--------	--------	-------------	-----	-------------

款	04	衛生費	予 算 現 額	4,124,000 円
項	01	保健衛生費	決 算 額	3,428,607 円
目	06	公害対策費	前年度決算額	2,994,504 円
			対 前 年 比	114.5 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	水質浄化事業	コード	01	04	01	06	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 環境保全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	市街化調整区域の町民、子ども、町民、水質
3	どのような状態に したいのか(意図)	河川等の水質を浄化することによって、水環境への負荷の軽減を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 合併処理浄化槽推進事業 生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、市街化調整区域で単独浄化槽から合併処理浄化槽に付替えた者に対して補助金を交付しました。(実績4件、1,929,000円)
		2 水質浄化啓発事業 (1) 水質検査 ア 河川の水質汚濁状況を定期的に把握するため、11河川等12か所の水質検査を3回行いました。 イ 水環境の保全に努めるため、生活排水路4か所の水質検査を2回行いました。 (2) 水生生物調査(境川生きものウォッチング) 例年、境川河川敷(交通児童遊園前)において、町内の小学生3～6年生を対象に境川に生息する生物を採取し、その生物指標により水質階級を判定する生活排水の啓発イベントを実施していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から令和2年度に続き当該年度においても中止しました。

5	活動指標	指標名	合併処理浄化槽付替件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	基 6.00	基	個別計画による目標値はありません。
		指標の説明 (指標式)	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への付替件数	令和元年度	基 1.00	基	
				令和2年度	基 4.00	基	
	令和3年度		基 4.00	基			
6	成果指標	指標名	境川下流(四ツ塚)の水質(BOD)測定値	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 生活排水対策推進計画に定める目標値(生活環境の保全に関する環境基準に定める河川類型BのBOD基準値(3.0mg/l以下))
				平成30年度	mg/l 8.53	mg/l 3.00	
		指標の説明 (指標式)	水質の汚濁状況を表すBOD(生物化学的酸素要求量)の測定値の平均(年3回測定)	令和元年度	mg/l 2.73	mg/l 3.00	
				令和2年度	mg/l 2.00	mg/l 3.00	
	令和3年度		mg/l 4.57	mg/l 2.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	2,400,118 円	決 算 額	2,527,229 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	公害対策事業	コード	01	04	01	06	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ 環境保全対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	事業者、町民、土壌・騒音・振動・悪臭などの原因
3	どのような状態にしたいのか(意図)	発生した公害が早期に解決され、良好な生活環境が保全されるようにします。また、有害物質による土壌汚染や土砂の流出等による災害の発生が未然に防止されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	1 公害等対策事業 生活環境に悪影響を及ぼす公害を監視し、町民の生活環境を良好に保つとともに、通報に対して直ちに調査し対処しました。 また、町民に対し環境保全に関する啓発を実施するとともに、近隣市と積極的に情報交換をしました。 (1) 公害苦情件数 8件(典型7公害等に関するもの) (2) 東郷町土質等規制条例許可申請件数 0件
		2 騒音対策事業 (1) 届出の受付 騒音規制法、振動規制法及び県民の生活環境の保全等に関する条例(以下「愛知県条例」。)に基づく騒音・振動などの届出を受け、監視するとともに監視先に対する苦情処理を行い、快適な生活環境を守りました。 ア 特定施設の設置届出件数 0件 イ 愛知県条例に基づく悪臭関係工場等の届出件数 3件 ウ 特定建設作業実施届出件数 (ア) 騒音規制法に基づく届出 147件 (イ) 振動規制法に基づく届出 60件 (ウ) 愛知県条例に基づく届出 506件 (2) 騒音測定等 町内の幹線道路の騒音状況を把握するため、町内6路線8地点の騒音測定を実施し、町民の健康及び生活環境の保全を図りました。
		3 環境放射線対策事業 平成23年の福島第1原子力発電所の事故以降、町内の空間放射線量を監視するため測定し、公表しました。 6施設で空間放射線量を測定しました。 測定日：令和3年10月14日
		4 自動車排出ガス濃度調査事業 愛知県の調査制度を利用し、大気環境測定車による調査を実施し、公表しました。 (1) 調査地点：東郷町大字春木字弥計511-1 (2) 調査期間：令和3年7月13日(火)から7月28日(水)まで

5	活動指標	指標名 公害苦情処理件数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値		
			平成30年度	件 9.00	件	個別計画による目標値はありません。	
			令和元年度	件 3.00	件		
			令和2年度	件 8.00	件		
令和3年度	件 8.00	件					

6	成果指標	指標名 苦情解決率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 発生した苦情は100%解決を目指します。
			平成30年度	% 100.00	% 100.00	
			令和元年度	% 100.00	% 100.00	
			令和2年度	% 100.00	% 100.00	
指標の説明 (指標式)	(苦情件数-未解決件数) ÷苦情件数×100	令和3年度	% 100.00	% 100.00		

7	直接事業費計	前年度決算額	594,386 円	決算額	901,378 円
---	--------	--------	-----------	-----	-----------

款	04	衛生費	予 算 現 額	38,541,000 円
項	02	清掃費	決 算 額	36,791,614 円
目	01	清掃総務費	前年度決算額	34,880,271 円
			対 前 年 比	105.5 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	地域環境対策事業	コード	01	04	02	01	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	05 美しいまちをつくる						
		施策の展開方向	④ まちの環境美化と不法投棄対策の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民					
2	働きかける相手(対象)	町民、町内通行者					
3	どのような状態に したいのか(意図)	ポイ捨てや不法投棄のない清潔な生活環境を保持します。					
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>1 地域環境美化事業</p> <p>(1) 犬猫等動物死骸処理 公道等において、交通事故等で死亡した犬猫等の死骸処理を行いました。 処理件数 121件</p> <p>(2) 地域清掃活動用ゴミ袋の配布 地域清掃や公共の場をボランティアで清掃される方に、専用のごみ袋を配布しました。 申請件数 84件</p> <p>2 不法投棄監視等事業 不法投棄が多い不法投棄重点監視区域を中心に、町内を監視パトロールしたほか、不法投棄物や散乱ごみの回収・運搬等を行いました。</p> <p>(1) パトロール日数 143日 (2) 不法投棄確認件数 189件 (3) 回収した不法投棄物の重量 9,690kg</p>					
		5	活動指標	指標名	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
		不法投棄物確認件数	平成30年度	194.00 件	個別計画による目標値はありません。		
	指標の説明 (指標式)	不法投棄監視で確認した不法投棄物の件数	令和元年度	135.00 件			
			令和2年度	193.00 件			
			令和3年度	189.00 件			
6	成果指標	指標名	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 過去3年間における実績値の 平均値	
		指標の説明 (指標式)	不法投棄物の年間処理量	平成30年度	9,440.00 kg		9,911.00 kg
			不法投棄監視で回収した不法投棄物の年間処理量	令和元年度	8,780.00 kg		9,650.00 kg
				令和2年度	9,740.00 kg		9,293.00 kg
				令和3年度	9,690.00 kg		9,320.00 kg
7	直接事業費計	前年度決算額	4,716,866 円	決算額	4,582,651 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	廃棄物減量推進事業	コード	01	04	02	01	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と3Rの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、廃棄物減量等推進員
3	どのような状態に したいのか(意図)	ごみの減量化を推進し、限りある資源を将来にわたって有効に活用できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	廃棄物減量推進事業 (1) 廃棄物減量等推進員及び環境美化推進員事業 町内18地区に各2名(合計36名)の推進員を配置し、ごみの減量の啓発、廃棄物の適正処理の推進等を行いました。推進員の主な職務は、「廃棄物の減量に関する啓発」、「資源回収の推進」、「ごみの分別及び適正排出の推進」、「不法投棄等の監視に係る活動」、「ごみ集積場所の設置等に関する連絡調整」等があります。事業活動を理解してもらうため、廃棄物の分類方法や資源の分け方・出し方についての説明会を行いました。また、資源回収ステーションと中間処理業者の現地見学を行い、リサイクルへの理解を深めていただきました。 (2) クリーンアップキャンペーンの実施 幹線道路沿いのポイ捨てごみの収集を年2回実施しました。 令和3年6月14日 傍示本、春木台地区 令和3年10月27日 諸輪、北山台地区 (3) 生ごみの減量化 生ごみの減量対策として、電動生ごみ処理機、生ごみ処理容器の購入者に補助金を交付しました。 補助実績 電動生ごみ処理機6基、生ごみ処理容器11基 (4) フードドライブの実施 家庭で廃棄される食品(食品ロス)を削減するため、食べきれない食品を町民に持ち寄ってもらい、必要とされる方に寄付する活動を年3回実施しました。 令和3年6月21日~30日 令和3年10月4日~15日 令和4年2月1日~14日	
---	-----------------------	--	--

5	活動指標	指標名	環境美化活動等の実施回数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	2.00	過去3年の実施回数の中の最大値	
				令和元年度	2.00		
				令和2年度	2.00		
令和3年度	2.00						
6	成果指標	指標名	生ごみ処理機の補助実績	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	8.00	15.00	過去3年間における実績値の平均値
				令和元年度	13.00	14.00	
				令和2年度	13.00	12.00	
令和3年度	17.00	11.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	1,172,500 円	決算額	1,241,852 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	資源回収事業	コード	01	04	02	01	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と3Rの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、区・自治会、集団資源回収団体
3	どのような状態に したいのか(意図)	町民一人ひとりがリサイクルへの意識を持ち、ごみ減量を地域で主体的に取り組むことができるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	資源回収事業	
		<p>(1) 資源回収ステーションでの資源回収の推進 常設の資源回収ステーション2か所(北部・中部)で資源の回収に努めました。</p> <p>ア 回収品目 26品目 (新聞、雑誌、段ボール、紙パック、古着、紙製容器包装、雑がみ、その他の紙製容器包装、プラスチック製容器包装、ペットボトル、ペットボトルのキャップ、白色トレイ、蛍光管、びん、缶、廃食用油、乾電池、スプレー缶、使い捨てライター、割りばし、インクカートリッジ、水銀入り体温計、小型家電、充電式電池、ボタン電池、バッテリー)</p> <p>イ 回収量 716t</p> <p>(2) 地区における資源回収の促進 資源の分別収集を実施した区・自治会に対し、月額9,000円の奨励金を交付しました。</p> <p>ア 対象品目 2品目(ペットボトル、びん)</p> <p>イ 回収量 45t</p> <p>(3) 集団資源回収の促進 集団資源回収実施団体に対し、資源回収量に応じ、奨励金を交付しました。</p> <p>ア 団体数 40団体</p> <p>イ 対象品目 7品目(新聞、雑誌、段ボール、布類、紙パック、アルミ缶、スチール缶)</p> <p>ウ 回収量 766t</p>	

5	活動指標	指標名	資源回収量	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	t 1,763.00	t 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	資源回収ステーション、地区資源回収、集団資源回収で回収した資源の量	令和元年度	t 1,721.00	t	
				令和2年度	t 1,519.00	t	
		令和3年度	t 1,527.00	t			
6	成果指標	指標名	資源回収率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 前年度実績値
				平成30年度	% 15.30	% 16.20	
		指標の説明 (指標式)	資源回収量÷(資源回収量+処理しなければならないごみ量)×100	令和元年度	% 14.80	% 15.30	
				令和2年度	% 13.80	% 14.80	
				令和3年度	% 14.40	% 13.80	
7	直接事業費計	前年度決算額	28,046,033 円	決算額	30,967,111 円		

款	04	衛生費	予 算 現 額	362,406,000 円
項	02	清掃費	決 算 額	359,118,470 円
目	02	塵芥処理費	前 年 度 決 算 額	355,883,947 円
			対 前 年 比	100.9 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	一般廃棄物処理事業	コード	01	04	02	02	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と3Rの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、事業者、一般廃棄物
3	どのような状態にしたいのか(意図)	町内から発生する一般廃棄物を、計画的、衛生的かつ効率的に収集・運搬し、適正に処理できるようにします。また、焼却施設などで処理しなければならないごみの量を抑制するようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	一般廃棄物処理事業 (1) 計画収集等 町内全域で、家庭系ごみは町指定ごみ袋により衛生的な収集(可燃ごみは週2回、資源ごみ金属類は月2回、資源ごみ陶磁器・ガラスは月1回)を行い、事業系ごみは許可業者による収集を行い、尾三衛生組合等に搬入し、処分しました。粗大ごみは、電話予約により受付後、毎週1回戸別有料方式で収集を行い、尾三衛生組合に搬入し、処分しました。 [尾三衛生組合へのごみ搬入量(家庭系及び事業系の合計。直接搬入を含む。)] ア 可燃ごみ 10,730t(うち計画収集 7,546t) イ 金属類 267t(うち計画収集 267t) ウ 陶磁器・ガラス 131t(うち計画収集 131t) エ 乾電池・蛍光管 11t(うち計画収集 0t) オ 粗大ごみ 653t(うち計画収集 74t) (2) 指定ごみ袋 ごみ収集のための指定ごみ袋を印刷し指定ごみ袋の販売(ごみ処理手数料の徴収)を販売店に委託しました。 委託店舗数 73店舗 (3) 尾三衛生組合負担金 ア 尾三衛生組合(本町、日進市及びみよし市で構成する一部事務組合)の運営に必要な負担金を支払いました。 イ 組合議会、正副管理者会議、管内担当課長会議、管内担当者会議に出席しました。 (4) 一般廃棄物処理基本計画の中間見直し(令和4年度~令和8年度)を行いました。
---	-----------------------	--

5	活動指標	指標名	処理しなければならないごみ量	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	可燃・資源・粗大ごみの年間排出量(直接搬入を含む)	平成30年度	11,888.00 t	個別計画による目標値はありません。	
				令和元年度	11,976.00 t		
				令和2年度	12,175.00 t		
令和3年度	11,792.00 t						
6	成果指標	指標名	処理しなければならないごみの町民1人1日当たりの量	年 度	実 績 値	目 標 値	目 標 値 の 設 定 方 法
		指標の説明 (指標式)	可燃・資源・粗大ごみの年間排出量(直接搬入含む。) / 年度末人口 / 年間日数	平成30年度	743.00 g	741.00 g	前年度実績値
				令和元年度	743.00 g	743.00 g	
				令和2年度	758.00 g	743.00 g	
令和3年度	739.00 g	758.00 g					
7	直接事業費計	前年度決算額	355,883,947 円	決 算 額	359,118,470 円		

款	04	衛生費	予 算 現 額	73,449,000 円
項	02	清掃費	決 算 額	56,574,903 円
目	03	し尿処理事業	前年度決算額	38,999,556 円
			対 前 年 比	145.1 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	し尿処理事業	コード	01	04	02	03	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	3 安全・安心で、自然と共生するまち【安全・安心、自然・生活環境】						
		基本施策	04 環境にやさしいまちをつくる						
		施策の展開方向	③ ごみの適正処理と3Rの推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民
2	働きかける相手(対象)	町民、日進美化センター、日進市南部浄化センター
3	どのような状態に したいのか(意図)	生し尿を適正に収集処理することにより、清潔な生活環境を保持するようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	し尿処理事業	
		(1) し尿処理 し尿汲取券で従量制により収集し、処理施設である日進美化センターに搬入し、処理しました。 年間収集量 生し尿収集量 225,540kg (参考) 浄化槽汚泥収集量 6,865,930kg (2) し尿汲取券 し尿汲取券の販売(し尿処理手数料の徴収)を販売店に委託しました。 (3) 日進美化センター運営業務委託事業 し尿処理業務について、日進美化センターへ運営を委託しました。 (4) 令和4年4月から東郷町、日進市、長久手市のし尿を処理する日進市南部浄化センターの施設整備に係る負担金を支払いました。	

5	活動指標	指標名	生し尿収集量	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	kg 346,830.00	kg 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	kg 297,230.00	kg	
				令和2年度	kg 223,540.00	kg	
	令和3年度		kg 225,540.00	kg			
6	成果指標	指標名	し尿収集量の処理施設搬入割合	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 収集したし尿の全てを処理施設へ搬入することを目標とします。
				平成30年度	% 100.00	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)	し尿搬入量÷し尿収集量×100	令和元年度	% 100.00	% 100.00	
				令和2年度	% 100.00	% 100.00	
令和3年度	% 100.00			% 100.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	38,999,556 円	決 算 額	56,574,903 円		

款	05	労働費	予 算 現 額	18,656,000 円
項	01	労働諸費	決 算 額	13,408,000 円
目	01	労働諸費	前 年 度 決 算 額	20,241,000 円
			対 前 年 比	66.2 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	シルバー人材センター運営事業	コード	01	05	01	01	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	1 だれもが元気に暮らせるまち【健康・医療・福祉】						
		基本施策	04 高齢者がいきいきと暮らせる						
		施策の展開方向	④ 高齢者の就労・社会貢献の推進						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	高齢者
2	働きかける相手(対象)	公益社団法人東郷町シルバー人材センター
3	どのような状態にしたいのか(意図)	長年の職業経験や技能を活かしたいと望む高齢者に働く機会を提供することを通じて、生きがいの充実や生活の安定、地域社会の維持・発展を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	シルバー人材センター運営事業	
		(1) 公益社団法人東郷町シルバー人材センターの令和3年度事業報告	
		ア 会員数	250人(月平均247人)
		イ 事務局職員数	4~7月: 4人 8~3月: 3人
		ウ 就業実人数	2,150人(月平均179人)
		エ 就業率(月平均)	72.5%
		オ 受託事業収入	86,591,603円
		カ 派遣事業支出	10,512,317円
		キ シルバー生活応援隊事業実績	18件
		(2) シルバー人材センターに対して運営事業費補助金を交付しました。	
		ア 補助対象経費	
		給料手当	16,699,306円
		法定福利費	2,626,066円
		イ 補助金額	13,408,000円

5	活動指標	指標名	受託事業収入	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	千円 96,863.00	千円 109,000.00	公益社団法人東郷町シルバー人材センター第3次中期計画
		指標の説明 (指標式)	就業機会の確保及び提供による収入	令和元年度	千円 100,099.00	千円 110,500.00	
				令和2年度	千円 87,322.00	千円 112,000.00	
	令和3年度		千円 86,592.00	千円 100,116.00			
6	成果指標	指標名	会員就業率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 公益社団法人東郷町シルバー人材センター第3次中期計画
				平成30年度	% 72.90	% 82.50	
		指標の説明 (指標式)	就業実人数÷会員数×100 (毎月の平均値)	令和元年度	% 73.30	% 84.70	
				令和2年度	% 70.00	% 86.90	
	令和3年度		% 72.50	% 88.90			
7	直接事業費計	前年度決算額	20,241,000 円	決 算 額	13,408,000 円		

款	06	農林水産業費	予 算 現 額	11,168,764 円
項	01	農業費	決 算 額	10,630,306 円
目	01	農業委員会費	前年度決算額	10,531,174 円
			対 前 年 比	100.9 %

I. 事務の目的体系

1	事業名	農業委員会運営事業	コード	01	06	01	01	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	農地所有者、農業委員、農地利用最適化推進委員
3	どのような状態に したいのか(意図)	農地を効率的に利用する耕作者の権利取得等を促進するなど農地の利用関係を調整するとともに、貴重な資源である農地の転用を適切に規制し、町内で良好な農業経営が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業委員会運営事業 農地の効率的な利用を図るため、農業的土地利用の観点からの確な農業委員会活動を行いました。 (1) 農業委員会総会開催回数 12回(毎月1回) (2) 農地法関係の届出及び許可の取扱件数 ア 3条許可 7件 イ 4条許可 4件 ウ 4条1項8号届出 12件 エ 5条許可 20件 オ 5条1項7号届出 59件 合計 102件 (3) 先進地視察研修 新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。	

5	指標名	農業委員会の開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成30年度	回 12.00	回
	指標の説明 (指標式)	令和元年度	回 12.00	回	
		令和2年度	回 12.00	回	
		令和3年度	回 12.00	回	
6	直接事業費計	前年度決算額	3,739,403 円	決 算 額	4,009,542 円

款	06	農林水産業費	予 算 現 額	22,573,236 円
項	01	農業費	決 算 額	22,312,339 円
目	02	農業総務費	前年度決算額	24,210,700 円
			対 前 年 比	92.2 %

I. 事務の目的体系

1	事 業 名	農業総務一般管理事業	コード	01	06	01	02	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	農業者、職員
2	働きかける相手(対象)	職員
3	どのような状態に したいのか(意図)	農業行政全般を円滑に推進できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業総務一般事務事業 職員の知識向上を図るため、下記の研修会に参加しました。 (1) 管内農地転用・農振制度実務者研修 (2) 農地事務担当者研修会 (3) 農地中間管理事業の推進に向けた研修会 (4) 農業者年金業務研修会 (5) その他農政関係の各種研修	

5	指 標 名	会議、研修会等への参加回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成30年度	10.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指 標 の 説 明 (指 標 式)		令和元年度	3.00	回
			令和2年度	6.00	回
			令和3年度	8.00	回
6	直接事業費計	前年度決算額	52,990 円	決 算 額	77,290 円

款	06	農林水産業費	予 算 現 額	37,177,000 円
項	01	農業費	決 算 額	24,547,894 円
目	03	農業振興費	前年度決算額	1,123,998 円
			対 前 年 比	2184 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	農業振興一般事業	コード	01	06	01	03	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	農業者、農業関係団体
3	どのような状態に したいのか(意図)	各種の農業施策事業を展開し、担い手農家の育成や特産品の開発・普及を進め、農業の活性化が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業振興一般事業	
		<ul style="list-style-type: none"> (1) 有機農業者の有機JAS認証取得及び認証継続を支援しました。 ・有機JAS認証取得推進事業補助金 71,970円(1経営体) (2) 農業用施設及び農業用機械を整備する経営体を、国の担い手確保・経営強化支援事業を活用し支援しました。 ・担い手確保・経営強化支援事業費補助金 9,000,000円(1経営体) (3) 麦の先進的な営農技術の導入及び農業用機械を整備する経営体を、国の水田麦・大豆産地生産性向上事業を活用し支援しました。 ・水田麦・大豆産地生産性向上事業費補助金 5,886,000円(1経営体) (4) 農業者が行う地球温暖化防止、生物多様性保全活動に対して助成しました。 ・環境保全型農業直接支払交付金 404,800円(3団体) (5) 認定新規就農者に補助金を交付しました。 ・農業次世代人材投資資金(経営開始型) 2,519,116円(2経営体) (6) 軽トラ市を新型コロナウイルス感染症対策を講じて町内各所で開催し、地産地消の推進を図りました。 (7) 町全体の農業振興や有機農業の推進について、関係者を招集し検討会を実施しました。 ・町の農業振興について 5回 町内農業者、農業関係者、有識者を招集 ・有機農業の推進について 4回 主に町内有機農業者を招集 (8) 令和4年度の農業振興地域整備計画の策定に向けて、基礎調査を実施しました。 	

5	活動指標	指標名	有機農業や農業振興に関する検討会の開催回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)	有機農業や農業振興に関する検討会の開催回数	平成30年度	0.00	過去3年の最高値	
				令和元年度	0.00		
				令和2年度	0.00		
令和3年度	9.00						
6	成果指標	指標名	有機JAS認証取得農家数	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)	有機JAS認証取得農家数	平成30年度	0.00	0.00	予算措置上の件数
				令和元年度	0.00	0.00	
				令和2年度	1.00	3.00	
令和3年度	1.00	4.00					
7	直接事業費計	前年度決算額	140,121 円	決 算 額	23,091,436 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	ふるさと農園管理事業	コード	01	06	01	03	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	ふるさと農園利用者
2	働きかける相手(対象)	ふるさと農園利用者、町民
3	どのような状態に したいのか(意図)	町民が健康的でゆとりのある日常生活の増進と農業に対する理解を深める足掛かりとして、ふるさと農園について知ってもらい、新たな利用者を増やすとともに、農園がより使いやすく親しみやすい場所として利用されるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	ふるさと農園管理事業 農園の貸出し及び農園の維持管理を実施しました。	
		(1) 区画 かがやの里 52区画 (20㎡/1区画) 利用者51人 (利用率 98.1%) かがみだの里 64区画 (20㎡/1区画) 利用者64人 (利用率 100%)	(2) 利用料(1区画当たり) 4,000円
		(3) 維持管理事業 ア 利用者による草刈り ※例年5月及び11月に実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 イ 事業者委託によるゴミ集積場所ゴミ運搬処分(令和3年10月)	

5	活動指標	指標名	ふるさと農園維持管理事業数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	回数 2.00	回数 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	農園利用者による草刈り	令和元年度	回数 2.00	回数	
				令和2年度	回数 1.00	回数	
			令和3年度	回数 0.00	回数		
6	成果指標	指標名	ふるさと農園利用率	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 全区画の利用
				平成30年度	% 90.26	% 100.00	
		指標の説明 (指標式)		令和元年度	% 89.66	% 100.00	
				令和2年度	% 92.00	% 100.00	
		令和3年度	% 99.14	% 100.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	337,154 円	決算額	385,255 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	農学校運営事業	コード	01	06	01	03	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	① 担い手及び新規就農者の育成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農学校生徒
2	働きかける相手(対象)	農学校生徒、講師
3	どのような状態にしたいのか(意図)	とうごう農学校での学習や体験の機会を提供することで、多様な農業者の育成を進めるとともに、遊休農地の解消を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農学校運営事業 農業の実践及び農業を体験することにより、農業の重要性を各自が認識することができました。 (1) 受講者数 24名 (2) 期間 ア 春夏露地野菜コース 4月から7月まで イ 秋冬露地野菜コース 8月から11月まで (3) 実習及び講座回数 実習年 32回 講座年 8回 研修年 4回 (4) 栽培作物 ア 春夏 スイカ、カボチャ、キュウリ、ピーマン、ナス、トマト等 イ 秋冬 白菜、大根、キャベツ、小松菜、ブロッコリー、カブ等	

5	指標名	実習、講座回数、研修等	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値
			平成30年度	回 45.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)	令和元年度	回 42.00	回	
		令和2年度	回 23.00	回	
		令和3年度	回 44.00	回	

6	指標名	農学校受講者数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法 基本の定員数
			平成30年度	人 22.00	人 25.00	
	指標の説明 (指標式)	農学校の受講者数	令和元年度	人 17.00	人 25.00	
		令和2年度	人 16.00	人 25.00		
		令和3年度	人 24.00	人 20.00		

7	直接事業費計	前年度決算額	646,723 円	決算額	1,071,203 円
---	--------	--------	-----------	-----	-------------

款	06	農林水産業費	予 算 現 額	3,066,000 円
項	01	農業費	決 算 額	2,820,998 円
目	04	地域農政推進費	前年度決算額	6,674,032 円
			対 前 年 比	42.3 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	水田農業構造改革対策事業	コード	01	06	01	04	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	① 担い手及び新規就農者の育成						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	農業者
3	どのような状態に したいのか(意図)	米の需要均衡の回復と価格安定のため、需要に応じた米の計画的生産の徹底を図るとともに、担い手への支援及び育成を行い、遊休農地対策を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	水田農業構造改革対策事業 需要に応じた作物生産と良好な水田環境の保全を図りながら生産数量目標の目安の達成、水田農業の構造改革を推進し、消費者の期待に応える取組を支援しました。	
		(1) 担い手育成事業(土地利用集積助成金) 農業の担い手が行う農地の利用集積に対し、その面積に応じて助成しました。 $8,321a \times 150円/a = 1,248,150円$ (2) 担い手育成事業(農作業委託費助成金) 担い手に農作業の委託をした農業者に、委託料金の一部を助成しました。 助成額 1,048,848円 ≪実績≫ 耕起 119,581㎡ (助成単価1.0円/㎡) 代掻き 58,512㎡ (助成単価1.2円/㎡) 田植え 118,259㎡ (助成単価1.1円/㎡) 刈取り 244,502㎡ (助成単価3.3円/㎡) (3) 東郷町地域農業再生協議会の経営所得安定対策等に要する経費を助成しました。 水田農業経営所得安定対策推進費補助金 524,000円	

5	活動指標	指標名	農地集積面積	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	87.00 ha	91.00 ha	農業委員会で定める目標値
		指標の説明 (指標式)	管内農地のうち、担い手に集積された農地の面積	令和元年度	88.00 ha	91.00 ha	
				令和2年度	87.00 ha	92.00 ha	
	令和3年度		94.00 ha	101.00 ha			
6	成果指標	指標名	農地集積率	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 過去3年の最大値
				平成30年度	24.10 %	23.64 %	
		指標の説明 (指標式)	管内農地のうち、担い手に集積された農地の割合	令和元年度	25.53 %	24.10 %	
				令和2年度	24.80 %	25.53 %	
	令和3年度		26.80 %	25.53 %			
7	直接事業費計	前年度決算額	6,674,032 円	決 算 額	2,820,998 円		

款	06	農林水産業費	予 算 現 額	7,443,000 円
項	01	農業費	決 算 額	7,088,698 円
目	05	農地費	前 年 度 決 算 額	12,460,632 円
			対 前 年 比	56.9 %

I. 事業の目的体系

1	事業名	農業用施設維持管理事業	コード	01	06	01	05	01	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農業者、町民
2	働きかける相手(対象)	農業用ため池の所有者又は管理者、農業用施設
3	どのような状態に したいのか(意図)	農業用ため池の管理者等と協力して維持管理を行い、農業用水の安定的な供給に資するとともに自然災害等を未然に防止できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業用施設維持管理事業																						
		<p>(1) 町内にある農業用ため池を維持管理するため、5つの地区が実施した農業用ため池の管理事業（堤体の草刈り及び除去）に対し補助しました。</p> <table border="1"> <tr> <td>ア 諸輪地区</td> <td>8か所</td> <td>7,650㎡</td> <td>153,000円</td> </tr> <tr> <td>イ 和合地区</td> <td>2か所</td> <td>2,238㎡</td> <td>44,000円</td> </tr> <tr> <td>ウ 傍示本地区</td> <td>4か所</td> <td>6,831㎡</td> <td>136,000円</td> </tr> <tr> <td>エ 祐福寺地区</td> <td>2か所</td> <td>3,456㎡</td> <td>69,000円</td> </tr> <tr> <td>オ 部田地区</td> <td>2か所</td> <td>1,425㎡</td> <td>28,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>18か所</td> <td>21,600㎡</td> <td>430,000円</td> </tr> </table> <p>(2) 愛知用水三好支線水路緊急対策事業負担金 （独）水資源機構が実施する農業用の水路改修及び三好池の耐震対策工事に伴う負担金を支払いました。 負担金額 3,843,000円</p> <p>(3) 豊明北部地区水質障害対策事業維持管理費負担金 豊明市と締結している維持管理協定に基づき、維持管理費に係る負担金を支払いました。 負担金額 407,000円</p>	ア 諸輪地区	8か所	7,650㎡	153,000円	イ 和合地区	2か所	2,238㎡	44,000円	ウ 傍示本地区	4か所	6,831㎡	136,000円	エ 祐福寺地区	2か所	3,456㎡	69,000円	オ 部田地区	2か所	1,425㎡	28,000円	合 計	18か所
ア 諸輪地区	8か所	7,650㎡	153,000円																					
イ 和合地区	2か所	2,238㎡	44,000円																					
ウ 傍示本地区	4か所	6,831㎡	136,000円																					
エ 祐福寺地区	2か所	3,456㎡	69,000円																					
オ 部田地区	2か所	1,425㎡	28,000円																					
合 計	18か所	21,600㎡	430,000円																					

5	活動指標	指標名	農業用ため池の管理事業を実施したため池の数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成30年度	箇所 18.00	箇所	個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	事業の対象となるため池の数	令和元年度	箇所 18.00		箇所
				令和2年度	箇所 18.00		箇所
令和3年度	箇所 18.00			箇所			
6	成果指標	指標名	農業用ため池管理事業実施面積	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 前年度実績
			平成30年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00		
		指標の説明 (指標式)	草刈り及び除去の面積	令和元年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
				令和2年度	㎡ 21,600.00	㎡ 21,600.00	
令和3年度	㎡ 21,600.00			㎡ 21,600.00			
7	直接事業費計	前年度決算額	6,896,004 円	決 算 額	4,682,700 円		

I. 事業の目的体系

1	事業名	農業土木事業	コード	01	06	01	05	02	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	農家及び地域住民
2	働きかける相手(対象)	土地改良区域内にある道路、排水路、農水管
3	どのような状態に したいのか(意図)	農地の保全及びその利用の高度化のため、農業基盤を整備することにより生産性の高い農業の育成並びに農業経営の合理化及び効率化を図ります。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	農業土木事業 町所有の農水管が老朽化したため、修理を行いました。 ・ 諸輪地区空気弁取替え 1件	

5	活動指標	指標名	土地改良事業実施箇所のうち整備した箇所数	年度	実績値	個別計画、指針等による目標値	
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	箇所 0.00	箇所 個別計画による目標値はありません。	
				令和元年度	箇所 0.00		
				令和2年度	箇所 0.00		
				令和3年度	箇所 1.00		
6	成果指標	指標名	土地改良事業実施箇所のうち修繕した箇所数	年度	実績値	目標値	目標値の設定方法
		指標の説明 (指標式)		平成30年度	箇所 1.00	箇所 1.00	過去3年間の平均値
				令和元年度	箇所 0.00	箇所 1.00	
				令和2年度	箇所 1.00	箇所 1.00	
				令和3年度	箇所 1.00	箇所 1.00	
7	直接事業費計	前年度決算額	3,677,300 円	決算額	335,500 円		

I. 事務の目的体系

1	事業名	土地改良一般管理事業	コード	01	06	01	05	03	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	愛知用水東郷利水組合組合員
3	どのような状態に したいのか(意図)	愛知用水を利用する農業団体及び農業者と密接な連携を保ち、地区間相互の均衡を図ることで、農業用施設の維持管理や農業経営の円滑化、合理化及び効率化が図られるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	<p>土地改良事業一般事務事業 愛知県土地改良事業団体連合会に賦課金を支払いました。 次のとおり会議等に出席しました。 (1) 管内土地改良事業担当者会議 (2) ブロック別懇談会</p> <p>愛知用水を利用する農業団体、農家等と密接なる連携を保つ愛知用水東郷利水組合の6管理区に対し、活動の活性化を図るため、活動奨励金として計162,000円を交付しました。</p>	

5	指標名	会議、研修会の参加回数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値
			平成30年度	回 4.00	回 個別計画による目標値はありません。
	指標の説明 (指標式)		令和元年度	回 5.00	回
			令和2年度	回 2.00	回
			令和3年度	回 3.00	回
6	直接事業費計	前年度決算額	79,000 円	決 算 額	262,170 円

I. 事務の目的体系

1	事業名	愛知用水二期事業建設負担金償還事業	コード	01	06	01	05	04	-
2	総合計画の 施策体系	基本目標	5 産業と交流が盛んなまち【産業・雇用・交流】						
		基本施策	01 農業を活性化する						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)内部事務の内容

1	誰のために(受益者)	農業者
2	働きかける相手(対象)	水資源機構、愛知用水土地改良区
3	どのような状態に したいのか(意図)	農業用水を安定的に供給できるようにします。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	愛知用水二期事業建設負担金償還金事業（償還期間平成17年度から令和3年度まで） 令和3年度の建設事業負担金償還金として1,808,328円支払いました。	
		(1) 元金分	1,919,537円
		(2) 利息分	32,791円
		(3) 事務費軽減額	144,000円
		(4) 精算支払額	1,808,328円

5	指標名	償還額	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
			平成30年度	円 1,824,470.00	円	個別計画による目標値はありません。
令和元年度	円 1,855,627.00	円				
令和2年度	円 1,887,316.00	円				
令和3年度	円 1,919,537.00	円				
活動指標	指標の説明 (指標式)	当該年度に償還した建設負担金元金の額				
6	直接事業費計	前年度決算額	1,808,328 円	決 算 額	1,808,328 円	

款	06	農林水産業費	予 算 現 額	6,883,000 円
項	02	林業費	決 算 額	6,830,000 円
目	01	林業振興費	前 年 度 決 算 額	4,521,500 円
			対 前 年 比	151.1 %

I. 事業の目的体系

1	事 業 名	林業一般管理事業	コード	01	06	02	01	01	-
2	総 合 計 画 の 施 策 体 系	基 本 目 標	3 安全・安心で、自然と共生するまち 【安全・安心、自然・生活環境】						
		基 本 施 策	03 緑豊かなまちを守る						
		施策の展開方向	-						

II. (Do)一般事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民、木曾川流域の住民
2	働きかける相手(対象)	町民、銀河の森(2.94ha)、伐採届届出者、森林の土地の所有者届届出者
3	どのような状態にしたいのか(意図)	林業が担い手不足や高齢化等の状況にある中、人工林を育てることで林業経営の安定化、森林の公益的機能(おいしい水や空気を供給する機能)の促進を図るとともに、町民の森林・林業に対する理解と協力が促進されるようにします。また、森林の適正な管理状態を維持し、水源の育成に努めます。

4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	林業振興一般事業	
		(1) 森林法による届出の受付 ア 森林法による伐採届の受付件数 2件 イ 森林法による森林の土地の所有者届の受付件数 11件 (2) 王滝村分取造林管理事業 長野県王滝村にある分取造林「銀河の森」について、国との契約に基づき、保全管理を実施しました。 作業内容：枝打、除伐、獣害防除 造林面積：2.94ha (3) 里山林整備事業 あいち森と緑づくり事業交付金を活用し、諸輪御嶽神社周辺の里山林の整備を実施しました。 作業内容：神社敷地内の建物周囲の不要木の伐採、機材搬入路の確保	

5	活動指標	指標名	森林伐採届及び森林の土地の所有者届の受付件数	年 度	実 績 値	個別計画、指針等による目標値	
				平成30年度	件 3.00	件 個別計画による目標値はありません。	
		指標の説明 (指標式)	伐採届の受付件数+森林の土地の所有者届の受付件数	令和元年度	件 4.00	件	
				令和2年度	件 12.00	件	
			令和3年度	件 13.00	件		
6	成果指標	指標名	銀河の森植栽面積	年 度	実 績 値	目 標 値	目標値の設定方法 銀河の森植栽延べ面積
				平成30年度	ha 2.94	ha 2.94	
		指標の説明 (指標式)	銀河の森植栽延べ面積	令和元年度	ha 2.94	ha 2.94	
				令和2年度	ha 2.94	ha 2.94	
			令和3年度	ha 2.94	ha 2.94		
7	直接事業費計	前年度決算額	4,521,500 円	決 算 額	6,830,000 円		